

ながひさ



一人一台PC端末は令和の学びのスタンダード

校長 笠井 修

今月は、これから学校に導入される「ICT環境」についてお知らせします。

昨年度、学級の最大人数に合わせた児童用タブレットパソコン（以下PC）が、市内全小・中学校に整備されました。長久小学校では、昨年度の六年生が最大三十五名在籍していましたが、三十五台のPCが配られました。通常は図書室の充電保管庫におき、使用したい学級が予約して使っています。ネット検索や学習資料の提示、学習のまとめやプレゼンテーション資料の作成、その他キーボード入力の練習などに使っています。すべての学級が使用したいときに使えるわけではありませんが、予約した時間は一人が一台のPCを使うことができます。教員も学習効果を上げるために、どのようにPCを活用すれば良いかを研修している最中です。今年度より新しくなった学習指導要領の中にも、プログラミング教育という分野が入りました。この教育内容は全てをPCで行うわけではありませんが、このような機器が充実することで学習しやすくなります。しかし、実際に使ってみて、三十名近くの子どもたちが一斉に、調べたいことをネット検索すると、通信速度が低下してしまい、時間がかかったり、時には止まってしまったりして、授業で十分に使うことができないこともありました。それが、この三学期には解決します。

GIGAスクール構想

まず、国の補助金によって、一人一台のPCの環境が整います。大田市でも、小学一年生から中学三年生まで自分で使用するPCが整備されます。また、通信環境においても高速大容量の通信ネットワーク環境に改善されます。体育館を含めた校舎内のどこでも、多くのPCを同時に接続しても、通信速度が低下しにくい環境になります。

では、このような環境において、PCは学習でどのように活用できるのでしょうか。

一斉授業では

現在、先生が大型モニターやプロジェクターをつかって、学習内容を



提示・説明し、子どもたちの興味関心意欲を高めています。それが、一人一台PC環境下では、授業中でも一人一人の反応を把握しやすくなり、その反応を踏まえた双方向型の一斉授業が可能となります。

個別学習では

現在、全員が同時に同じ内容を学習することが多いです。とは言っても、実際にノートやプリントに記入する進度が異なることで、把握が難しく、一人一人への評価に時間がかかってしまいました。多くの子どもたちを前に、先生が一人に対応することには限度があります。それが、PCを使うことで、各人が同時に別々の学習を行うことがより可能となります。そして、それらの学習履歴を記録し、評価も同時に出来ます。よって、一人一人の教育的ニーズや学習状況に応じた個別学習が可能となります。

協働学習では

現在、意見交流をする際には、意見を発表する子どもは一人一人が順番になり限られます。PCを使うことで、一人一人の考えをお互いにリアルタイムで共有したり、子ども同士で双方向の意見交換をしたりすることが可能となります。さらに、各自の考えを即時に共有し、多様な意見にも即時に触れることができます。

ドリル学習では

現在、漢字や計算などのドリル問題集を使い基礎的な知識、漢字、計算を身につけています。答え合わせは、教員が一人一人に〇つけをしたり、児童が自己採点をしたりしています。それが、PCのドリルアプリを使うと、一問一問、身につけたい力や解き方に合わせた、最適な回答パターンが出題ができます。回答は自動で正誤判定し、即時フィードバックするので、間違えた問題を解き直し、つまづきを残さず、効果的に学力を伸ばせます。また学級の平均や個々の児童の進捗状況が把握でき、効果的な個別指導に生かれます。

このように、一人一台のPC環境では、学びを深めたり、これまでの学びを転換したりすることができるようになります。しかし、これは、すべての授業で行うことが有効であるとは限りませんし、PCが整備されたからといってすぐにできるわけではありません。PCを使う技術が子どもにも指導者にも必要となってきます。さらに最も大切なのは、自分の考えや思いを表現する力を育成することです。自分の考えをもつこと、そして、考えや思いを表現しようという意欲をもつことです。ICT環境が整っているようにいまいが、興味・関心・意欲を高め、思考力・判断力・表現力を培うことを子ども同士の関わりを通して大切にしていけることを日々の教育活動の中で取り組んでいきたいと考えています。

熊谷家昔のくらし体験 (三年生)

十月二十七日、二十八日、三年生が熊谷家に体験学習に出かけました。薪割りしたり、かまどでご飯を炊いたり、みそ汁を作ったり普段なかなかできない体験をさせてもらうことができました。煙が目にしみて涙が出たり火の番をするのが熱かったりして「昔の人は大変だったんだなあ。」と言っている子どもたちがたくさんいました。出来上がったご飯とみそ汁はとてもおいしく、おかわりをする子がたくさんいました。



公開授業日・一年生給食試食会

十月二十九日は今年度初めての公開授業日でした。多くの保護者に来校いただきありがとうございました。この日は、一年生保護者の給食試食会も合わせて実施し、教室で親子一緒に食べました。給食の準備から片付けまで子ども達の給食の様子を見てもらったり、同じ給食を食べていただいたりすることで給食についての理解を深めていただいたことと思います。



五年生宿泊体験学習

十月二十二日(木)から、五年生は三瓶青少年交流の家で宿泊体験学習を行いました。今年度も久屋小、川合小の子どもたちと合同で行いましたが今年度は時期と内容を変更し一泊二日で実施しました。

一日目は三瓶登山を予定していましたが、悪天候のため室内での

交流スポーツ大会や室内オリエンテーリングを行いました。他校の児童ともあつという間に打ち解け、楽しく活動する様子が見られました。二日目は野外炊飯活動でカレーづくりを行いました。野外炊飯は薪に火をつけるところから片付けまですべて、子どもたちの力で作ることができました。どの班も素早く火起こしができ、協力しておいしいカレーを作ることができました。二日間ではありましたが、協力することの大切さや、公共施設の利用の仕方などたくさんのお話を子どもたちは学んで帰りました。



【十一月・十二月の主な行事予定】

- | | | |
|--------|-----|---------------|
| 十一月十八日 | (水) | スクールカウンセラー来校日 |
| 二十日 | (金) | 学年学習発表日 |
| 二十五日 | (水) | 眼科検診 |
| 十二月二日 | (水) | スクールカウンセラー来校日 |
| 三日 | (木) | 委員会 |
| 四日 | (金) | 四年体験活動(美郷町) |
| 八日 | (火) | 五年・六年県学力調査 |
| 二十一日 | (月) | 期末個人懇談会 |
| 二十二日 | (火) | 期末個人懇談会 |
| 二十三日 | (水) | 期末個人懇談会 |
| 二十五日 | (金) | 終業式 |